



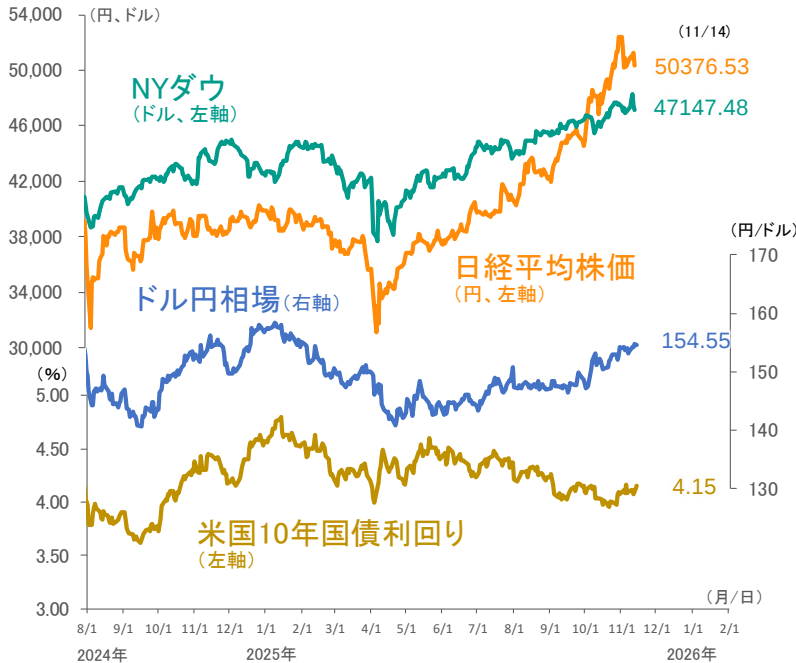
マーケット・レポート

Weekly Guide 2025.11.17

りそなグループのYouTube
で、最新のマーケット情報を
配信しております！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米国政府機関の一部閉鎖が43日目ようやく解除されましたが、経済指標の発表は遅れるとの見方からFRBの利下げ観測が後退し、株式市場の戻りは限定的でした。週間騰落率は、NYダウが+0.3%、ナスダック総合指数-0.5%、独DAX指数+1.3%、日経平均株価は+0.2%でした。債券は英国の財政悪化懸念などが影響し売りが先行しました。10年国債利回りは米国が前週末比+5bpの4.15%、独は同+5bpの2.72%、英は同+11bpの4.57%、日本は同+3bpの1.71%に上昇しました。ドル円は日銀の年内利上げ観測が後退し、一時155円台乗せとなりました。

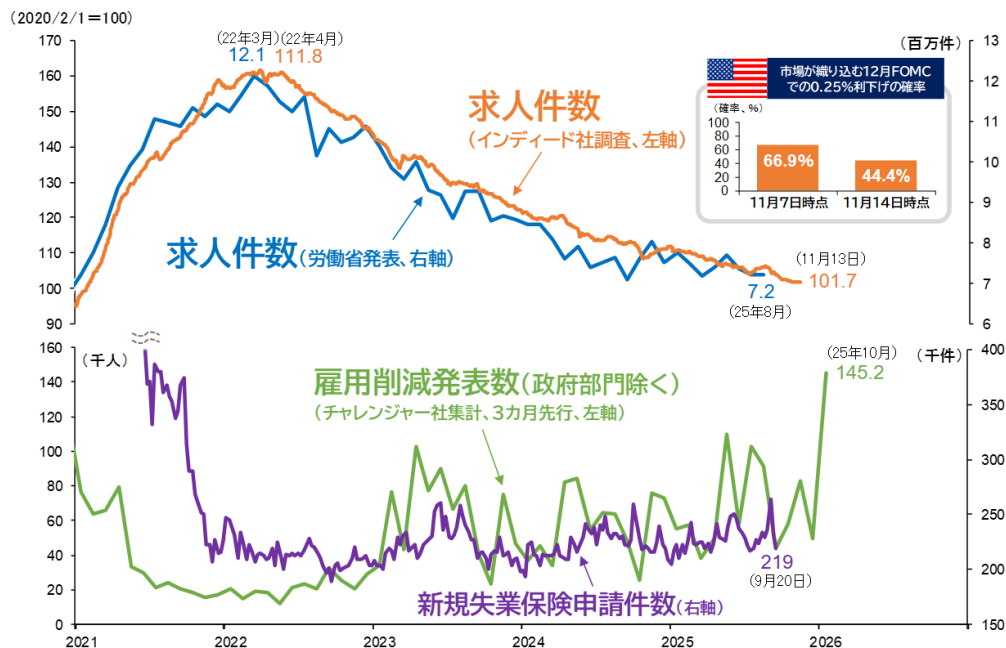
今週は、米国で政府経済統計の発表が順次再開される見通しです。雇用市場の軟化が示されれば12月利下げ観測が高まり、株式市場にはプラス要因になるとみられます。国内では7-9月期GDP速報値、10月CPI(消費者物価指数)が日銀の利上げ時期を見極める材料として注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 日・7-9月期GDP速報値 (17日)
- ◆ 米・エヌビディア8-10月期決算発表 (19日)
- ★ 米・11月NAHB住宅指数 (19日)
- ◆ 米・9月雇用統計(失業率は発表なし) (20日)
- ◆ 米・11月フィラデルフィア連銀景況指数 (20日)
- ◆ 日・10月コアCPI (21日)

★：りそな景気先行指数関連指標

民間調査会社から発表される求人件数、雇用削減数は米雇用市場の軟化を示しています。米労働省が今週発表する雇用統計、新規失業保険申請件数で同様の傾向が示された場合、12月利下げ観測が高まると予想されます



【出所】ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

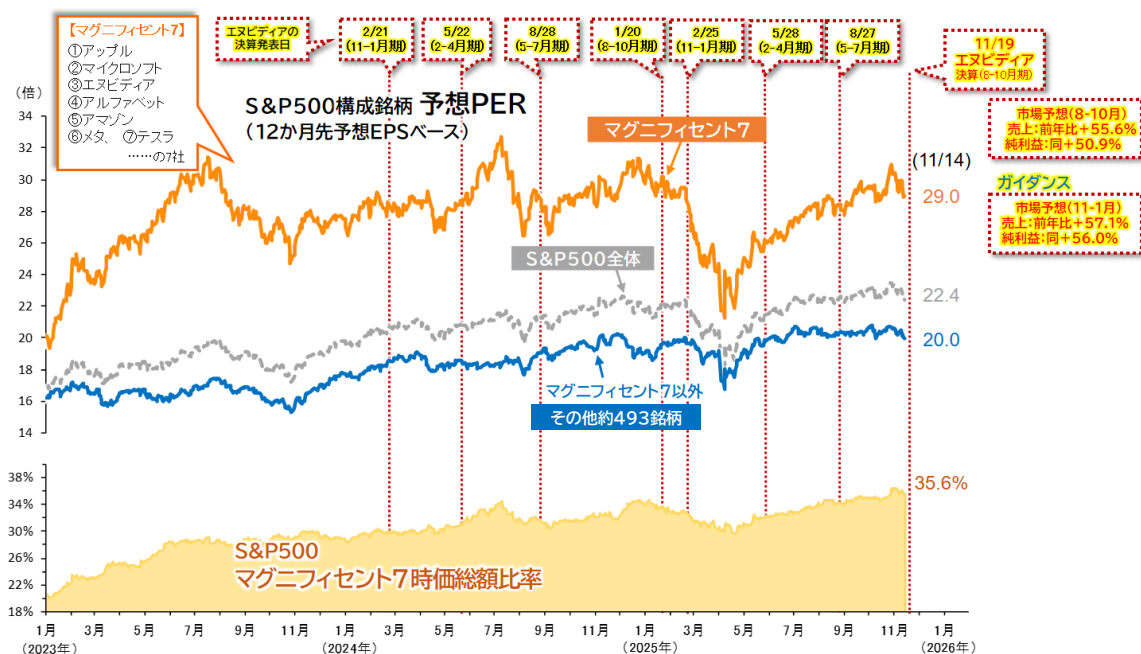
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

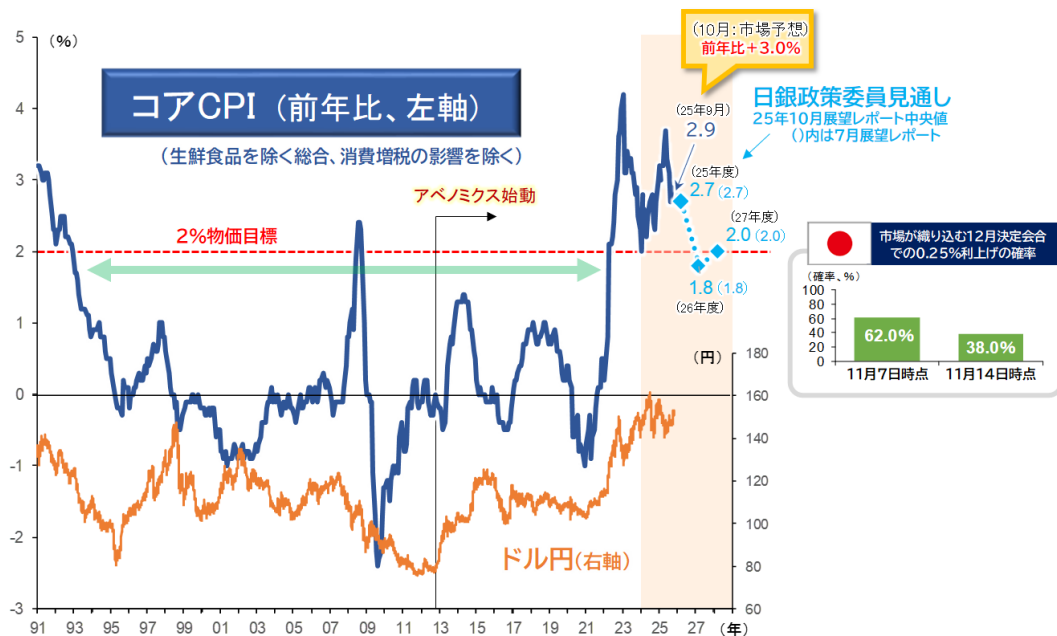
RESONA

エヌビディア社が19日に四半期決算を発表します。市場では、今期(8-10月期)・来期(11-1月期)ともに前年比50%を超える増収・増益が予想されています。決算内容を受け、世界的なAI株物色が再び勢いづくか注目されます



【出所】LSEG、ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

短期金融市場が織り込む日銀12月会合で0.25%の利上げ(0.5%→0.75%)決定の確率は、先週末時点で40%程度です。10月コアCPI(21日)の上振れ、或いは、円安が進行した場合、年内利上げ観測が高まるとみられます



【出所】日本銀行、ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2025年12月1日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。